



令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報を受け、八雲町では災害対策本部を設置し、避難所を8ヶ所開設して対応にあたりました。今回の災害対策本部の体制や避難所運営に関する課題や改善点、現場での気づきなどを把握するため、職員を対象にアンケート調査を実施しました。（回答期間：令和7年7月31日～8月29日まで 調査方法：HARPフォームによるアンケート 回答者：42名）

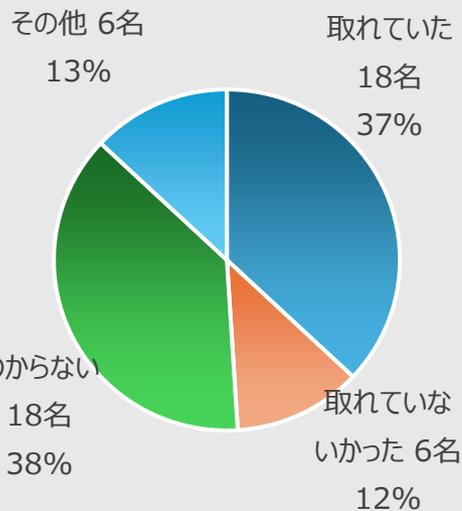
(1) 設問 「災害対策本部・避難所運営における改善点について」		(2) 設問 「町民及び避難者からの問い合わせ内容について」 (要旨抜粋)	
分類	改善点や提案等	分類	職員が受けた主な問い合わせ内容
災害対策本部の開設・運営	<ul style="list-style-type: none"> 指示系統の明確化（誰が何を指示するかの一貫性） 災害対策本部の確保・設備の改善（電子黒板等の導入） 職員の役割分担（物資班、広報班、指示役など）の明確化 TeamsなどICTツールの活用による情報共有の効率化 	避難場所・避難所に関するもの	「どこに避難すればよいか分からない」、「避難所は開設されているのか?」、「避難所と避難場所の違いが分からない」、「避難所は何時まで開設しているのか?」、「もう帰宅していいのか」
避難所開設・運営に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 受付体制の整備（名簿作成、出入り管理、名札など） 避難所職員のリーダー明確化とピブス着用 物資配布体制の整備（誰が持ってくるか、何が必要か） 避難者への対応マニュアル（体調不良者、児童、ペットなど） 避難所設備の整備（災害備蓄品や空調設備など） 	食料・飲料に関するもの	「昼食の提供がなかった」、「食料はいつ届くのか」、「おにぎりのラップが外れていたため食べられない」、「胃腸の問題で揚げ物が食べられない」、「ミルクが足りなくなりそう」
情報発信・共有に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> LINE・ホームページ・防災無線の即時発信体制の構築 避難所間・本部との情報共有の定期化（Teams活用など） web版ハザードマップの軽量化など 避難所開設状況や混雑状況の共有方法の確立 	トイレ・衛生設備に関するもの	「トイレが故障していて1か所しか使えなかった」、「足が不自由でトイレが使いづらい」、「和式トイレしかなくて困った」、「お尻拭きや紙パンツが必要」、「トイレの個数が少ない」
人員配置・体制に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 職員の安全確保 各課への職員派遣依頼の均等化 災害時のシフト体制の事前準備 職員の業務負担軽減のための応援体制 保健師・看護師の配置（長期化時の健康管理） 	情報提供・広報に関するもの	「津波警報が出たが、どこに避難すればよいか分からない」、「LINEやホームページの情報が遅い」、「防災無線が聞き取れない」、「テレビやラジオがなくて情報が得られない」、「避難解除の目安が分からない」
マニュアル・訓練・備品に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営マニュアルの整備（開設前・後の手順） 避難所開設に係る持参物の整備（開設セットの準備） 炊き出し訓練や物資管理の訓練の定期実施 災害時用品リストのデータ共有と物資依頼書の活用 	ペット・高齢者に関するもの	「ペット可能な避難所を知りたい」、「車椅子の方がトイレを使えなかった」、「糖尿病患者への対応（飴玉など）」、「重度障がい児の避難対応について」
その他の意見・提案	<ul style="list-style-type: none"> 津波避難所の指定見直し（避難所の位置づけを見直し） 避難所の新規指定（八雲高校など） 保育所・学童の避難体制の見直しと連携強化 	暑さ・寒さ・設備に関するもの	「避難所が暑すぎる」、「避難所が蒸して不快」、「エアコンが寒すぎる」、「毛布やタオルケットが欲しい」、「虫が多くて困った（殺虫剤・忌避剤の要望）」
		避難所運営・対応に関するもの	「受付がされていない」、「避難所職員の対応が不明確」、「避難所で誰が指示を出しているのか分からない」、「避難所に来たが、何も物資が届いていない」
		その他	「国道は通行止めなのか」、「どこの店が営業しているか知りたい」、「JRやバスの運行状況は?」、「外国人向けの対応は」



①町職員アンケート調査結果

2025.12.15八雲町役場危機対策課

（3）設問 「災害対策本部との連携について」

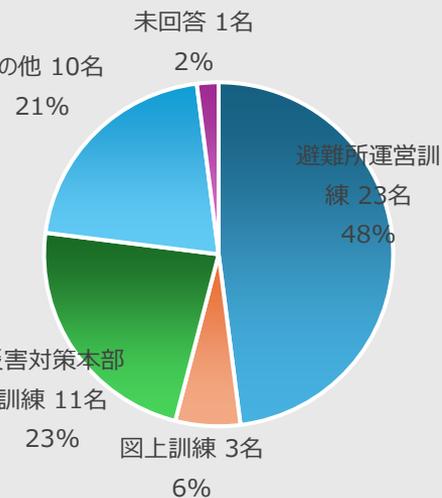


災害対策本部との連携については、「取れていた」という回答と「わからない」という回答が同数となった。
 今後は公用スマートフォンやteamsなどを活用した情報伝達・共有の仕組みが必要である。

（4）設問 「避難所運営において必要だと感じたものはなんですか（備蓄品・物資等も含めて）」

分類	必要と感じたもの
食料・飲料関連	非常食（乾パン、ゼリー、ソーセージなど）、飲料水（冷たい水が望ましい）、お湯（カップ麺や持参食材の調理用）、アレルギー対応食（揚げ物以外の選択肢）、子ども・高齢者向けの軽食
衛生・トイレ関連	トイレの数、洋式化（和式→洋式カバー）、お尻拭き、紙パンツ、尿取りパッド、汚物用ゴミ袋、ゴミ箱、生理用品、消毒用品、清掃用品
暑さ・寒さ対策	扇風機、スポットクーラー毛布、タオルケット、OS-1、ヒヤロンなどの熱中症対策品、エアコン（特に体育館など大規模避難所）
情報・連絡手段	携帯ラジオ、テレビ、Teamsなどの情報共有ツール、ポケットWi-Fi、避難所開設中の案内掲示（玄関表示など）
運営資材・文具類	名簿記入用紙（統一様式）、名札、カラー名札（受付済み識別用）、マジックペン（太字）、セロテープ、ガムテープ、コピー用紙、クリップボード、段ボールベッド、簡易ベッド
特別対応物資	杖、シルバーカー（高齢者用）、ペット用ケージ、餌、水、ミルク、持参薬（忘れた場合の対応）
運営マニュアル・チェックリスト	避難所運営マニュアル（様式集合む）、避難者対応・確認事項の一覧、アクションカード（役割明確化）
その他の備え	避難所ごとの部屋割り・導線整理（避難所ごとのレイアウト）、避難所開設用BOX（初動対応セット）、QRコードによる避難者数管理

（5）設問 「今回の経験を得て今後必要だと思う訓練は何ですか」



避難所運営訓練の重要性・必要性を求める声が多く、自主的に初動対応が出来るよう反復的な訓練した方が良いとの意見が寄せられた。
 また避難所は町職員のみならず、避難者全員で運営しなければならないことから、町民向けの避難所訓練もするべきとの声があった。

【まとめ】

本アンケートで寄せられた意見や課題については、今後の災害対応体制の見直しやマニュアルの改訂、職員研修の充実、地域との連携強化に活用してまいります。

【検証作業と今後の方向性】

- 職員アンケート、管理職員検証会議、町民アンケートの集計・分析
- 八雲町防災会議の開催
- 自主点検レポートの作成
- 横断的な職員チームの組織化・検討
- 図上演習・訓練等の実施・評価
- 各種計画、マニュアル等への反映